



十六銀行

十六アジアレポート 2021年2月号

JUROKU ASIA REPORT FEBRUARY 2021

2021年2月1日 発行

十六銀行 法人営業部 海外サポート室

目次

1. 上海:「コロナ禍における中国自動車市場の動向」

上海駐在員事務所 村瀬範晃

2. 為替相場情報

本書中の情報は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては全てお客様御自身でご判断くださいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行及び執筆者はその正確性を保証するものではありません。また、本書中の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。

1. 上海:「コロナ禍における中国自動車市場の動向」

上海駐在員事務所 村瀬範晃

2020年9月26日から10月5日にかけて「北京国際モーターショー」が開催されました。新型コロナウイルスの影響で当初の予定から約5か月遅れの開催となりましたが、世界各国で大型見本市の開催中止や規模の縮小が相次ぐなか、世界に先駆けて自動車市場が回復したここ中国では、世界の自動車メーカー各社が新モデルや事業戦略をアピールしました。そこで今回は、コロナ禍における中国自動車市場の動向についてご紹介します。

■「コロナ前」から減少傾向にあった中国の新車販売台数

そもそも新型コロナウイルスの感染が拡大する前から、中国の新車販売台数は減少傾向にありました。それは主に、①新排ガス基準の導入と、②NEV（新エネルギー車）に対する補助金支給額の段階的減額などが理由とされています。

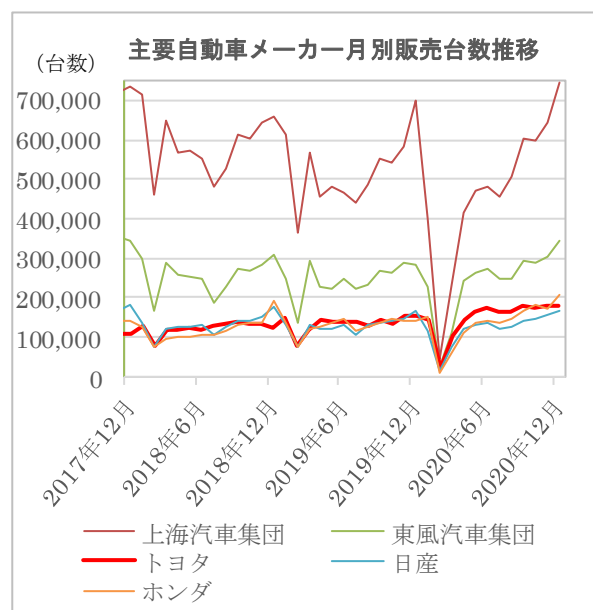
中国政府は欧州基準を参考にした自動車排出ガス規制を2001年から施行し、現在は第5段階目となる「国5」基準を設けています。次の段階にあたる「国6」基準は、排出規制値に関する要求がより厳しくなっており、特に窒素酸化物（NO_x）に対しては50%以上の改善が求められています。また、自動車メーカーに対応への猶予期間を与えるため、「国6」基準は「国6a」と、より厳しい「国6b」の2段階に分けられ、中国国内で販売・登録されるすべての軽型自動車（総重量3.5t以下の乗用車と商用車）は、2020年7月までに「国6a」基準、2023年7月までには「国6b」基準を満たす必要があると規定しました。

しかし、中国政府が2018年7月に大気汚染対策として「青空を守る戦い」と銘打つ3年計画を発表すると、翌2019年7月には北京や上海など計16の省・直轄市が、当初より4年も前倒しで「国6b」基準を適用してしまいました。この「前倒し適用」により自動車メーカー各社は、わずか2年前に施行された「国5」基準の車を、16の省・直轄市以外の限られた地域で販売せざるを得なくなりました。また、いつ乗れなくなるかわからない旧基準の自動車を購入することに不安を感じ、排ガス基準の影響を受けないEV（電気自動車）の購入を検討したり、自動車の購入を見送ったりする消費者も多く、結果として新車販売台数の減少を招いてしまいました。

■コロナ禍の中国自動車市場

2020年2月は、中国で新型コロナウイルスの感染が最も拡大した時期でした。国内の至る所で境界が封鎖されたほか、感染拡大防止のため不要不急の外出を控えるよう通達が出たことで多くの店舗が閉店を余儀なくされたため、消費者の購買意欲は大きく減退しました。その結果、世界の自動車販売台数の3割を占める世界最大の市場である中国においても、新車販売台数は前年同月比▲79.1%と驚異的な落ち込みを記録しました。

しかしその後、感染拡大は収束に向かいます。環境政策も微修正され、当初2020年7月から中国全土で開始される予定であった「国6」基準の導入は2021年1月に延期、2020年で終了予定のNEVへの



補助金も2022年まで延長されました。このように矢継ぎ早に政府のテコ入れが行われたことも相まって、新車販売台数は徐々に回復を見せ、12月は前年同月比+6.4%にまで回復し、2020年の年間新車販売台数も前年比▲1.9%の2,531万台まで回復するに至りました。

■世界最大市場で加速する新型EV戦略

こうした状況下での開幕となった北京国際モーターショーでしたが、「智領未来」（知恵で未来を創る）をテーマとして、未来を予感させる、世界の自動車業界の最先端技術や製品が集中的に展示されました。日系自動車メーカーも各社が新モデルを公開し、トヨタはSUV「C-HR」のEVモデルなど電動化モデル12台を展示、本田は中国で初めて量産するEVのコンセプトモデル「ホンダSUV e:コンセプト」を初披露しました。日産はEVの新型SUV「アリア」を海外で初公開し、2022年までに運転支援技術「プロパイロット」を搭載した7車種の新モデルを中国市場に投入する計画も公表しました。

中国の地元メーカーでは、上海の新興EVメーカーである威馬汽車が、コンセプトカー「MAVEN」を初披露しました。「EVの航続距離は400kmがひとつの目安」と言われるなか、「MAVEN」の航続距離は800kmと他社を大きく引き離し、圧倒的な存在感を示していました。



【中国の新興EVメーカーが初披露したコンセプトカー「MAVEN」】 筆者撮影

■終わりに

自動車の排ガスによる大気汚染対策として、中国政府の環境汚染防止政策は今後も継続すると考えられるため、自動車メーカー各社はEVの性能向上や省エネ化に必死です。そんななか、省エネ分野で強い競争力を持つ日系企業は、自動車業界に押し寄せる省エネの潮流を乗り切るには欠かせない存在であり、今後も益々存在感を高めていくことと思われます。

2. 為替相場情報

(1) 人民元一円為替相場(中国人民銀行公表仲値)

(単位:1人民元当たりの日本円)

| (月) | | (火) | | (水) | | (木) | | (金) | |
|--------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|----------|
| 12月21日 | 15.78457 | 12月22日 | 15.80553 | 12月23日 | 15.79879 | 12月24日 | 15.85062 | 12月25日 | 15.86697 |
| 12月28日 | 15.87226 | 12月29日 | 15.84435 | 12月30日 | 15.85289 | 12月31日 | 15.81378 | 1月1日 | - |
| 1月4日 | 15.78432 | 1月5日 | 15.92636 | 1月6日 | 15.90255 | 1月7日 | 15.94998 | 1月8日 | 16.04338 |
| 1月11日 | 16.06013 | 1月12日 | 16.07381 | 1月13日 | 16.07898 | 1月14日 | 16.04596 | 1月15日 | 16.06090 |
| 1月18日 | 16.01768 | 1月19日 | 15.98210 | 1月20日 | 16.02436 | 1月21日 | 16.01102 | 1月22日 | 16.02384 |



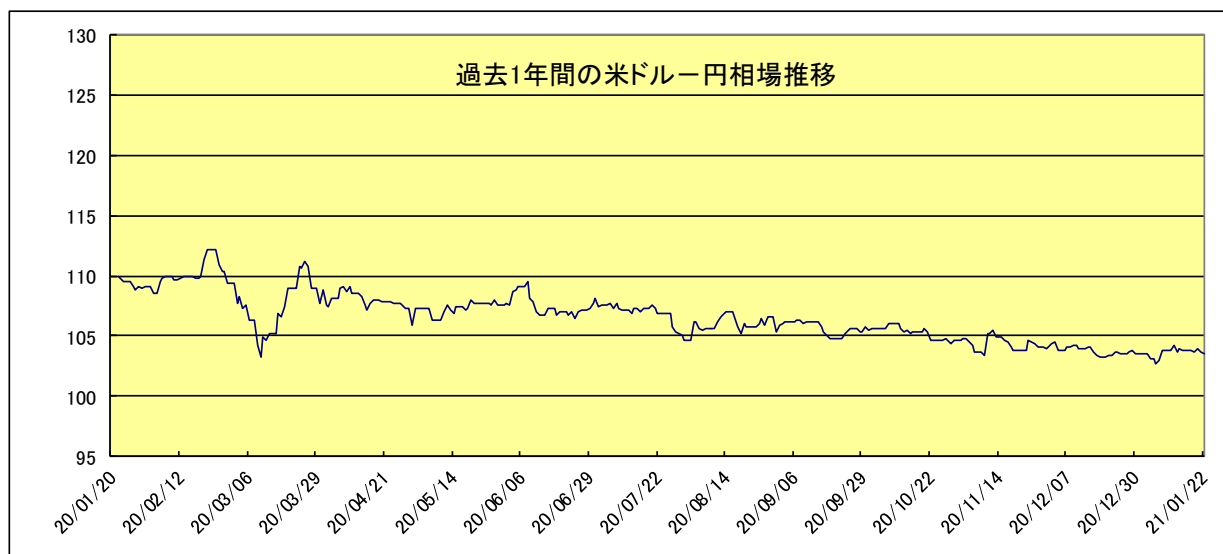
上記表、及びグラフはこの公表仲値を便宜的に1人民元当たりの日本円へ換算し直した相場です。

そのため、正式な人民元相場が必要な場合は、中国人民銀行にお問い合わせ下さい。

(2) ドルー円為替相場(当行公表仲値)

(単位:1ドル当たりの日本円)

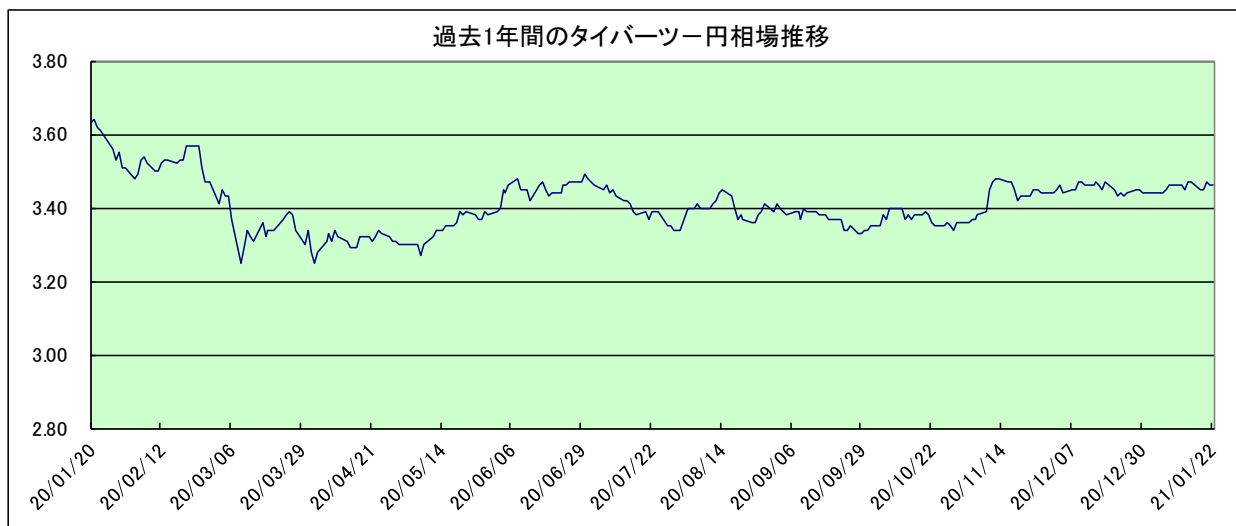
| (月) | | (火) | | (水) | | (木) | | (金) | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 12月21日 | 103.40 | 12月22日 | 103.34 | 12月23日 | 103.65 | 12月24日 | 103.63 | 12月25日 | 103.48 |
| 12月28日 | 103.62 | 12月29日 | 103.82 | 12月30日 | 103.50 | 12月31日 | - | 1月1日 | - |
| 1月4日 | 103.08 | 1月5日 | 103.15 | 1月6日 | 102.68 | 1月7日 | 102.99 | 1月8日 | 103.85 |
| 1月11日 | - | 1月12日 | 104.23 | 1月13日 | 103.68 | 1月14日 | 103.95 | 1月15日 | 103.84 |
| 1月18日 | 103.83 | 1月19日 | 103.74 | 1月20日 | 103.93 | 1月21日 | 103.61 | 1月22日 | 103.53 |



(3) タイバーツ-円為替相場(当行公表仲値)

(単位: 1パーツ当たりの日本円)

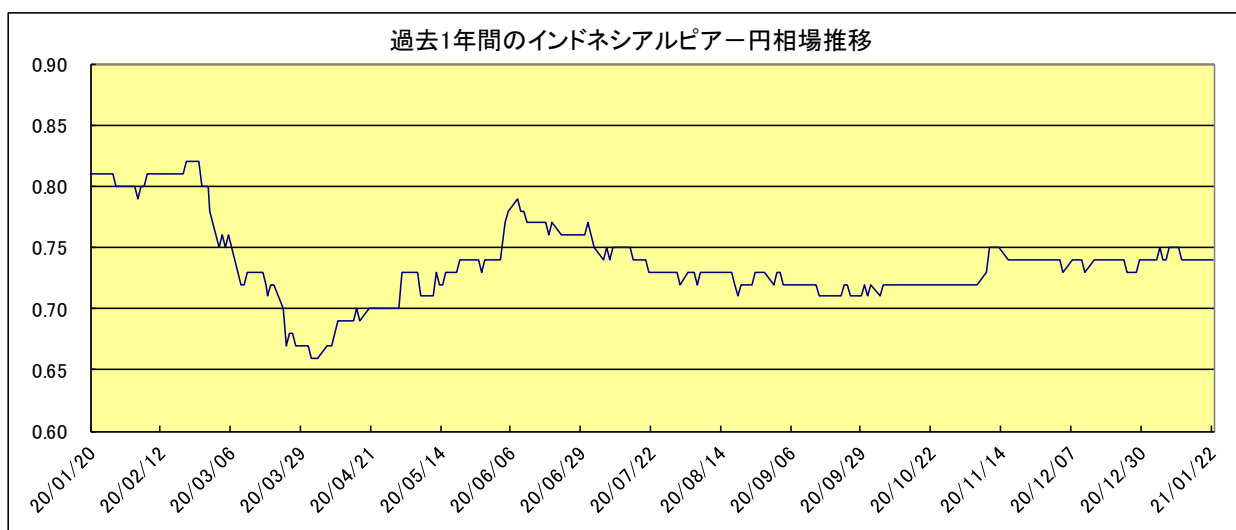
| (月) | | (火) | | (水) | | (木) | | (金) | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 12月21日 | 3.4500 | 12月22日 | 3.4300 | 12月23日 | 3.4400 | 12月24日 | 3.4300 | 12月25日 | 3.4400 |
| 12月28日 | 3.4500 | 12月29日 | 3.4500 | 12月30日 | 3.4400 | 12月31日 | - | 1月1日 | - |
| 1月4日 | 3.4400 | 1月5日 | 3.4400 | 1月6日 | 3.4400 | 1月7日 | 3.4500 | 1月8日 | 3.4600 |
| 1月11日 | - | 1月12日 | 3.4600 | 1月13日 | 3.4500 | 1月14日 | 3.4700 | 1月15日 | 3.4700 |
| 1月18日 | 3.4500 | 1月19日 | 3.4500 | 1月20日 | 3.4700 | 1月21日 | 3.4600 | 1月22日 | 3.4600 |



(4) インドネシアルピア-円為替相場(参考値)

(単位: 100ルピア当たりの日本円)

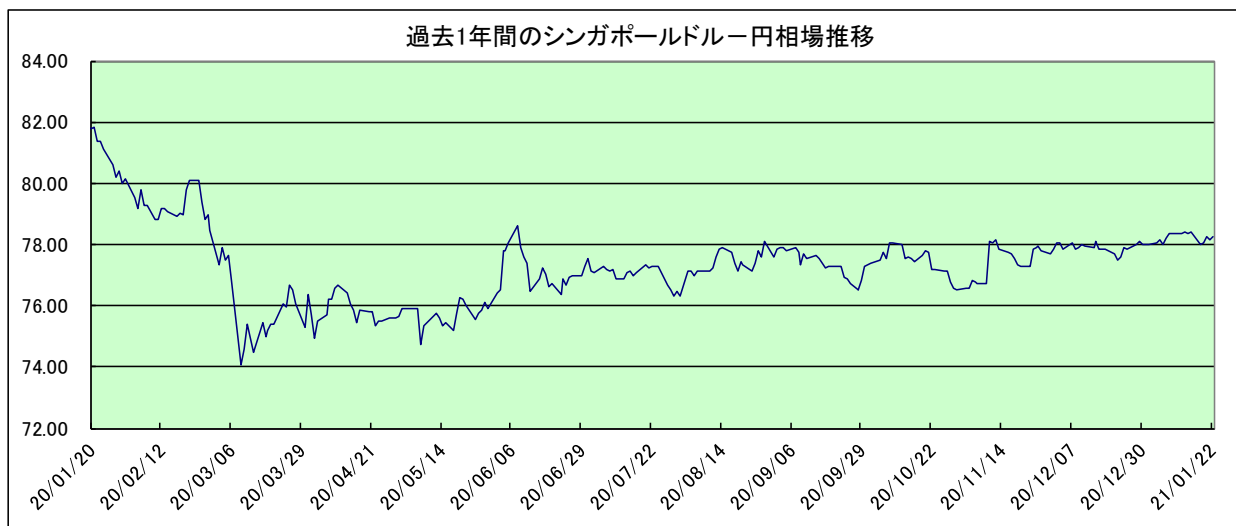
| (月) | | (火) | | (水) | | (木) | | (金) | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 12月21日 | 0.7400 | 12月22日 | 0.7400 | 12月23日 | 0.7400 | 12月24日 | 0.7400 | 12月25日 | 0.7300 |
| 12月28日 | 0.7300 | 12月29日 | 0.7400 | 12月30日 | 0.7400 | 12月31日 | - | 1月1日 | - |
| 1月4日 | 0.7400 | 1月5日 | 0.7500 | 1月6日 | 0.7400 | 1月7日 | 0.7400 | 1月8日 | 0.7500 |
| 1月11日 | - | 1月12日 | 0.7400 | 1月13日 | 0.7400 | 1月14日 | 0.7400 | 1月15日 | 0.7400 |
| 1月18日 | 0.7400 | 1月19日 | 0.7400 | 1月20日 | 0.7400 | 1月21日 | 0.7400 | 1月22日 | 0.7400 |



(5) シンガポールドル-円為替相場(当行公表仲値)

(単位:1ドル当たりの日本円)

| (月) | | (火) | | (水) | | (木) | | (金) | |
|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|
| 12月21日 | 77.7000 | 12月22日 | 77.5000 | 12月23日 | 77.5900 | 12月24日 | 77.8800 | 12月25日 | 77.8500 |
| 12月28日 | 77.9900 | 12月29日 | 78.1100 | 12月30日 | 78.0100 | 12月31日 | - | 1月1日 | - |
| 1月4日 | 78.0600 | 1月5日 | 78.1500 | 1月6日 | 77.9800 | 1月7日 | 78.1800 | 1月8日 | 78.3700 |
| 1月11日 | - | 1月12日 | 78.3600 | 1月13日 | 78.3900 | 1月14日 | 78.3700 | 1月15日 | 78.4300 |
| 1月18日 | 78.0000 | 1月19日 | 78.0400 | 1月20日 | 78.2800 | 1月21日 | 78.1700 | 1月22日 | 78.2600 |



(6) ベトナムドン-円為替相場(参考値)

(単位:1000ドン当たりの日本円)

| (月) | | (火) | | (水) | | (木) | | (金) | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 12月21日 | 4.4700 | 12月22日 | 4.4600 | 12月23日 | 4.4800 | 12月24日 | 4.4800 | 12月25日 | 4.4700 |
| 12月28日 | 4.4700 | 12月29日 | 4.4800 | 12月30日 | 4.4700 | 12月31日 | - | 1月1日 | - |
| 1月4日 | 4.4600 | 1月5日 | 4.4700 | 1月6日 | 4.4400 | 1月7日 | 4.4600 | 1月8日 | 4.4900 |
| 1月11日 | - | 1月12日 | 4.5200 | 1月13日 | 4.4900 | 1月14日 | 4.5000 | 1月15日 | 4.5000 |
| 1月18日 | 4.5000 | 1月19日 | 4.4900 | 1月20日 | 4.5000 | 1月21日 | 4.4900 | 1月22日 | 4.4800 |

